

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第44週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (44 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：日本紅斑熱 2 例。
- 5 類感染症：梅毒 5 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、発熱、食欲低下
			70歳代	男	肺結核	咳、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	中央	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1,VT2)
4類	日本紅斑熱	都城	40歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、筋痛、全身倦怠、嘔吐、下痢
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、消化器症状
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
		60歳代	男	晩期顕症梅毒	神経症状	
	播種性クリプトコックス症	都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳
高鍋		70歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,126 人(定点当たり 31.9)で、前週比 113%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、手足口病で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 42 人(0.7)で、前週比 117%と増加した。延岡(1.6)、高千穂(1.0)、中央(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

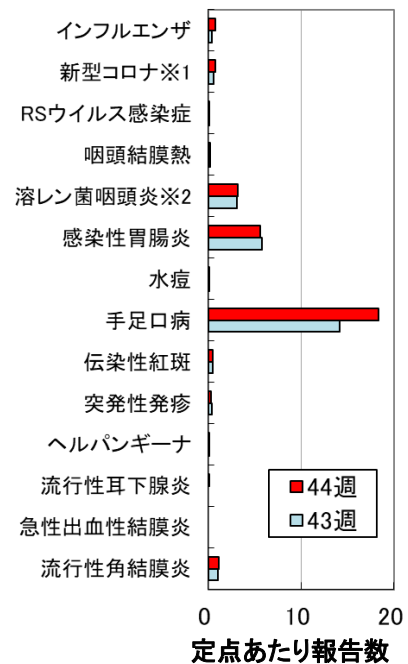
報告数は 202 人(5.6)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.3)の約 1.3 倍であった。日南(13.7)、宮崎市(7.3)、小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は 660 人(18.3)で、前週比 129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約 7 倍であった。日向(25.8)、宮崎市(25.2)、小林(20.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

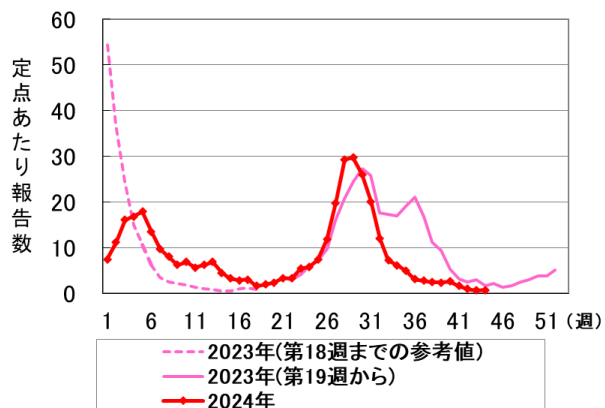
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

《前週との比較》



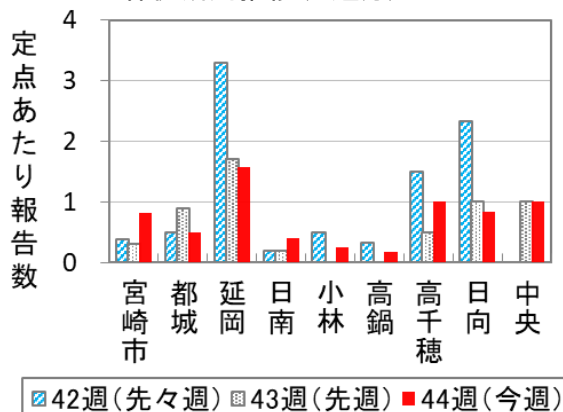
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

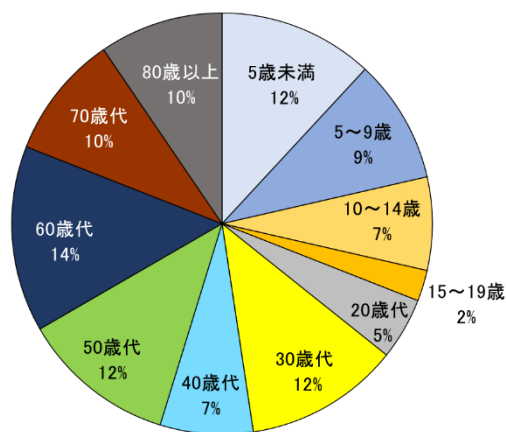


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

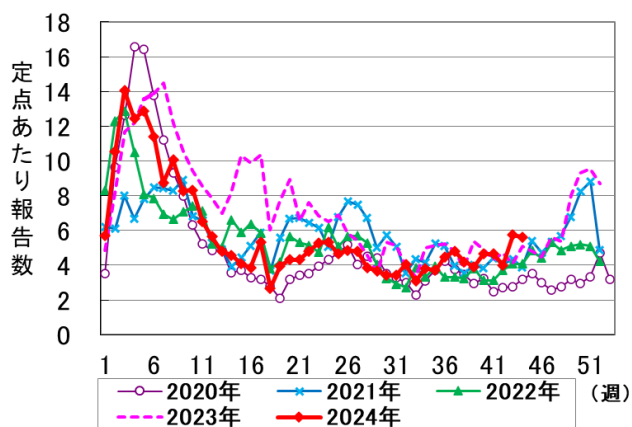
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



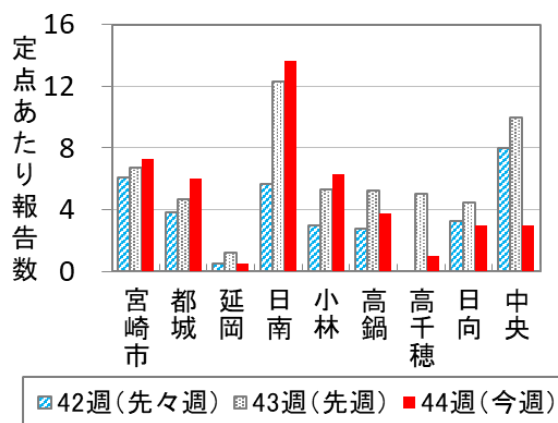
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第44週)



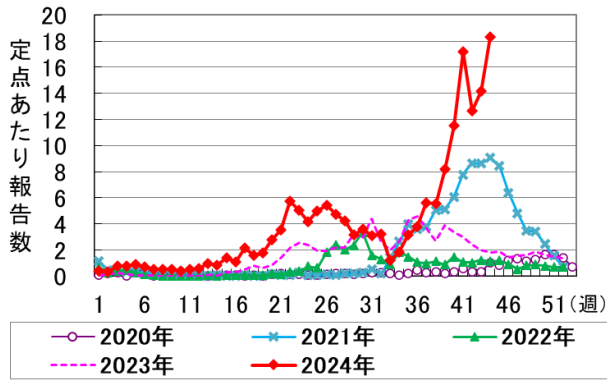
感染性胃腸炎 発生状況



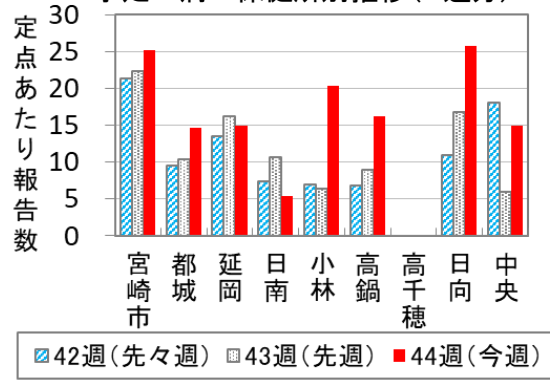
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は5例(定点当たり0.7)で、延岡(2例)、日向(2例)、宮崎市(1例)保健所から報告があった。年齢は0～4歳が2例、5～9歳が1例、10～14歳が1例、30歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(25.2)
都城	手足口病(14.7)
延岡	手足口病(15.0)、伝染性紅斑(3.0)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)、手足口病(5.3)
小林	手足口病(20.3)
高鍋	手足口病(16.3)
高千穂	なし
日向	手足口病(25.8)
中央	手足口病(15.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

📊 全国 2024 年第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし		
2類感染症	結核	327 例	
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症 108 例
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎 1 例 重症熱性血小板減少症候群 5 例
	つつが虫病	4 例	デング熱 1 例 日本紅斑熱 33 例
	レジオネラ症	46 例	レプトスピラ症 4 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎 4 例 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 42 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎 13 例 クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	24 例	後天性免疫不全症候群 14 例 ジアルジア症 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症 36 例 水痘(入院例) 11 例
	梅毒	204 例	播種性クリプトコックス症 1 例 破傷風 1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳 147 例 麻しん 3 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びマイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病であった。

手足口病の報告数は25,277人(8.1)で前週比86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約8.2倍であった。山形県(20.4)、宮城県(18.4)、愛媛県(18.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は1,195人(2.5)で前週比124%と増加した。愛知県(5.4)、福井県(5.3)、青森県(5.0)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は1.7であった。全国の年齢群別では15歳未満が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第44週(10月28日～11月03日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	23	46	4	32		3	6				1
	定点当り	0.40	0.79	0.25	3.20	0.00	0.60	1.50	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	36	42	13	5	11	2	1	1	2	5	2
	定点当り	0.62	0.72	0.81	0.50	1.57	0.40	0.25	0.17	1.00	0.83	1.00
RSウイルス感染症	報告数	5	4		3		1					
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	8	4	2	1	1					
	定点当り	0.25	0.22	0.40	0.33	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	111	115	42	9	19	30	1	10		2	2
	定点当り	3.08	3.19	4.20	1.50	4.75	10.00	0.33	2.50	0.00	0.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	207	202	73	36	2	41	19	15	1	12	3
	定点当り	5.75	5.61	7.30	6.00	0.50	13.67	6.33	3.75	1.00	3.00	3.00
水痘	報告数	1	2				1		1			
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	510	660	252	88	60	16	61	65		103	15
	定点当り	14.17	18.33	25.20	14.67	15.00	5.33	20.33	16.25	0.00	25.75	15.00
伝染性紅斑	報告数	17	18	6		12						
	定点当り	0.47	0.50	0.60	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	10	7				1	1		1	
	定点当り	0.39	0.28	0.70	0.00	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	5	2		1	1	1				
	定点当り	0.11	0.14	0.20	0.00	0.25	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1								1
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	7	1	6							
	定点当り	1.00	1.17	0.33	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	12	5	1		2					2	
	定点当り	1.71	0.71	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～44週 保健所受理分)

2類感染症	結核	98例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	14例(2)
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	15例
	梅毒	133例(5)	播種性クリプトコックス症	4例(1)
	百日咳	47例(2)		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	15例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			後天性免疫不全症候群	2例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

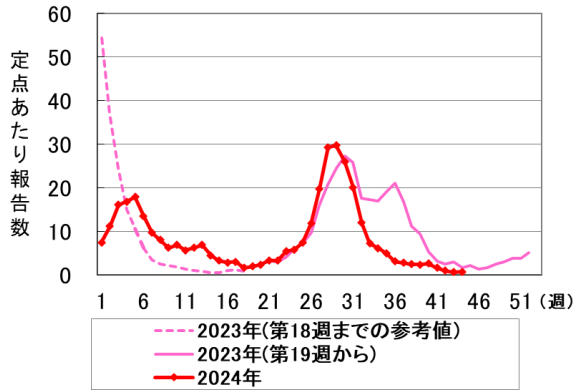
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第44週、全国第43週（再掲）》

□ 県内第44週 新型コロナウイルス感染症発生動向

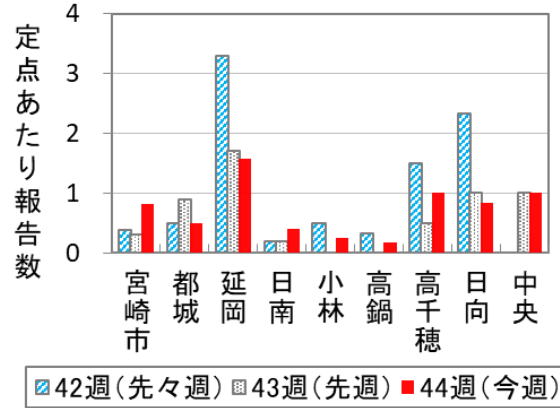
10月28日～11月3日までの1週間で42人(0.7)の報告があり、前週比117%と増加した。延岡(1.6)、高千穂(1.0)、中央(1.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

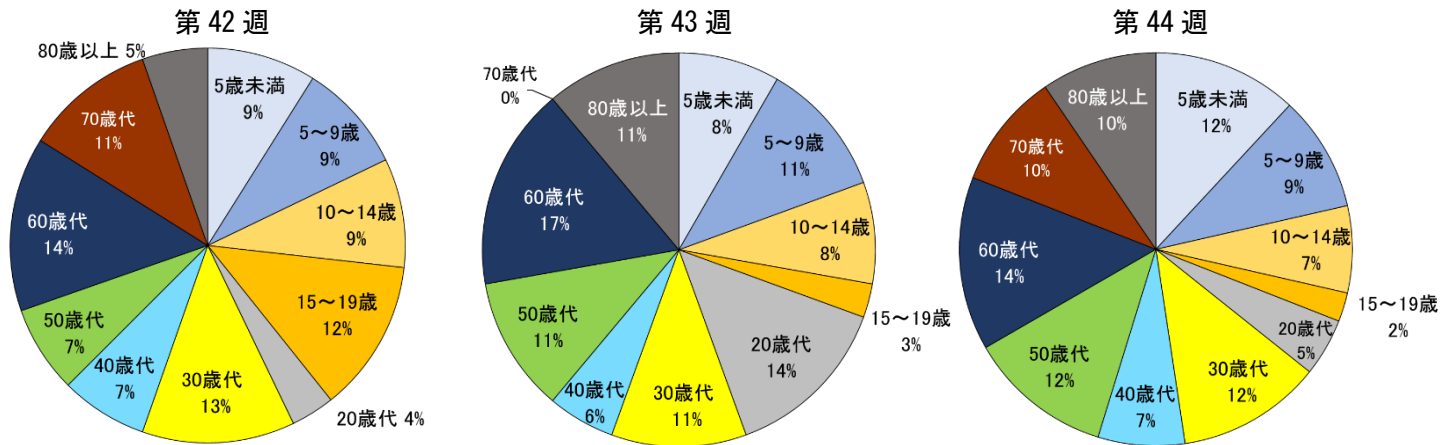


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

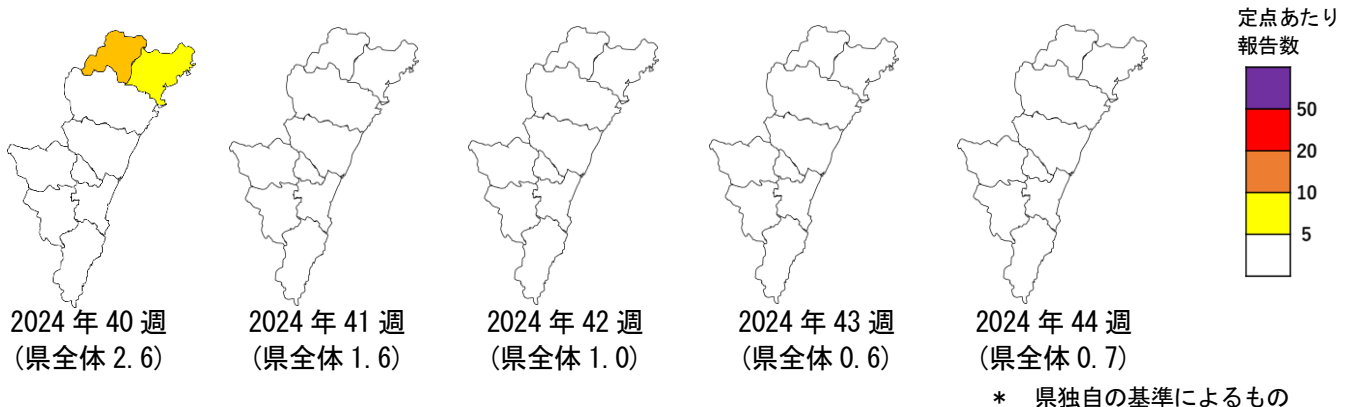
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第40週～2024年第44週



□ 全国第43週 新型コロナウイルス感染症発生動向

10月21日～10月27日までの1週間で8,359人(1.7)の報告があり、前週比91%と減少した。北海道(3.9)、岩手県(3.1)、長野県(3.1)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。